

〔科目名〕 生産管理論	〔単位数〕 2単位	〔科目区分〕
〔担当者〕 小嶋 高良 Kojima Koryo	〔オフィス・アワー〕 時間: 場所:	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 <p>生産管理は、経営における生産活動を効率化し、生産の三要素といわれる人(Man)、材料(Material)、機械(Machine)の三つの要素の有効性を最高に発揮させるための体系的活動をいい、具体的にいえば、需要に適合した製品ないし財を、需要の三要素といわれる良質に(良く)、安価に(安く)、しかも適時に(早く)生産するための体系的活動をいう。主内容は、生産管理概論、生産計画、作業研究、工程管理、品質管理、在庫管理、運搬管理、等である。</p>		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつか〕 <p>生産管理の内容を大別すると、生産計画(Production Planning)と生産統制(Production Control)の二つの機能に分けられる。</p> <p>生産計画は、生産対象、生産数量、生産方法、生産する場所、生産する順序、生産時期、等を決めて、それを関係部門に目標として与えるもので、</p> <p>生産統制は、生産計画を維持して、改善していくために、適切な時点と場と方法で実績の測定と評価を行い適当な処置と対策を取ることで、</p> <p>モノづくりの生産現場の問題解決手法として、実際に多くが活用されており、経営経済学部教育目標である「経営」「経済」「地域」に関する専門的知識を学び、「多様なもの見方」に立ち、複雑化する現代社会の仕組みを多角的に捉え、問題解決に立ち向かう力を養うことを学ぶ学生としては、就職後の企業の中で学生ら自らが問題解決手法として活用する場面に結びつく非常に役立つ手法である。</p>		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 <p>到達目標としては、生産管理の基本的な知識の理解とモノづくりの生産現場の問題解決手法としての理解について、またその活用方法についての到達度を評価する。</p> <p>そのために、講義用に作成したプリントを講義前に配布するが、予習として次回授業分のテキストを事前に良く読んで理解しておくこと。理解できなかったところはチェックしておくこと。</p> <p>また、ミニテスト、レポート課題を課することがあるが、その場合には良く調べて解答し必ず提出すること。</p> <p>そして、復習としてはテキストの内容の理解を深め、ミニテスト・レポート課題の解答をよく理解しておくこと。等を目標とし評価する。</p>		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 <p>学生から、授業内容を豊富にし過ぎたため、内容が散漫になった傾向があり、パワーポイントも枚数が多過ぎ、メモをとる時間にも制約が課せられたとの評価があり、少し内容を絞って、重点的に講義をするよう心掛けてきた。今年度は、学生がメモをとる時間にも注意をして、一層余裕のある授業に心掛けて行きたいと考えている。</p>		

〔教科書〕 教員作成資料	
〔指定図書〕 教員作成資料	
〔参考書〕 必要なときに提示	
〔前提科目〕 なし	
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) <ul style="list-style-type: none"> ・授業中にミニテストあるいはレポート課題を課することがある。 ・課題の内容などの詳細については、授業中に担当教員から指示する。 ・中間試験は実施しない。学期末に期末試験を実施する。 ・授業欠席が授業回数の3分の1を超える場合は、期末試験を受験不可とする。 ・試験の内容などの詳細については、最終授業時まで担当教員から指示する。 ・ミニテストあるいはレポート課題を実施した場合は、その評価と期末試験の評価を加算して総合的に評価する。 	
〔評価の基準及びスケール〕 <ul style="list-style-type: none"> ・ミニテストあるいはレポート課題を実施した場合はその評価を40%以下、期末試験の評価を60%以上とし、その合計100点満点の50点以上を合格とする。実施しない場合は期末試験100点満点の50点以上を合格とする。 	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 <ul style="list-style-type: none"> ・担当教員としては、「経営」「経済」「地域」に関する専門的知識を学び、「多様なものの見方」に立ち、複雑化する現代社会の仕組みを多角的に捉え、問題解決に立ち向かう力を養う経営経済学部の教育目標に則り、工学的な生産現場のモノづくりについて関心の薄い学生に対しても、関心を高め、学習意欲を高めるようなさまざまな事例を取り入れながら、授業の工夫や進め方に取り組んでいきたい。 ・受講学生に対しては、各講義は生産現場のモノづくりの問題解決の各種手法として、実際に生産現場で各種手法の多くが活用されているということを良く理解し、就職後には学生本人も企業の中で非常に役立つ手法として活用するものとして意欲をもって授業に臨んで欲しい。 	
〔実務経歴〕 該当なし	
授業スケジュール	
第1回	テーマ (何を学ぶか) : 生産管理論の概論 内 容 : 生産管理の概論と生産性、作業について 教科書・指定図書 教員作成資料
第2回	テーマ (何を学ぶか) : 生産管理 内 容 : 生産計画と生産統制、生産方式について 教科書・指定図書 教員作成資料
第3回	テーマ (何を学ぶか) : プラントレイアウト 内 容 : プラントレイアウトの概論とレイアウトデザインの体系的な進め方、基本原則、基本方式、手順、等について 教科書・指定図書 教員作成資料

第4回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 作業研究(1) 内 容 : 作業研究の概論と工程分析について</p> <p>教科書・指定図書 教員作成資料</p>
第5回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 作業研究(2) 内 容 : 動作分析について</p> <p>教科書・指定図書 教員作成資料</p>
第6回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 作業研究(3) 内 容 : 時間研究について</p> <p>教科書・指定図書 教員作成資料</p>
第7回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 工程管理 内 容 : 工程管理の概論と日程計画について</p> <p>教科書・指定図書 教員作成資料</p>
第8回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 品質管理(1) 内 容 : 品質管理の概論と品質、品質特性について</p> <p>教科書・指定図書 教員作成資料</p>
第9回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 品質管理(2) 内 容 : 品質保証について</p> <p>教科書・指定図書 教員作成資料</p>
第10回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 品質管理(3) 内 容 : 品質管理の手法について —QC7つ道具—</p> <p>教科書・指定図書 教員作成資料</p>
第11回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 品質管理(4) 内 容 : 品質管理の手法について —新QC7つ道具—</p> <p>教科書・指定図書 教員作成資料</p>
第12回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 品質管理(5) 内 容 : TQC と QC サークル活動について</p> <p>教科書・指定図書 教員作成資料</p>
第13回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 在庫管理 内 容 : 在庫管理の概論と発注方式について</p> <p>教科書・指定図書 教員作成資料</p>
第14回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 運搬管理 内 容 : 運搬管理の概論と運搬計画について</p> <p>教科書・指定図書 教員作成資料</p>
第15回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 生産管理論のまとめ 内 容 : 生産管理のトピックスとまとめ</p> <p>教科書・指定図書 教員作成資料</p>
試験	<p>(授業時間第8週第2時限) 筆記試験実施</p>